

今まで、漢字の学習法と言えば、ただがむしゃらな練習による丸暗記しか方法がなかった。これでは、苦勞ばかり多くて効果は少ない。

漢字は、元来、部品とも言うべき“部首”を合理的に組み合わせで作っていったものであるから、その基本である部首の持つ意義や性格をしっかりとつかみ、それを土台にして体系的に学習していくならば、理解が容易になるばかりでなく、一度学習した漢字はしっかりと記憶にとどまって、忘れることが少なくなる。わたくしは、この合理的、科学的漢字学習法の研究に取り組んで二十余年、最も能率的な学習法である“石井式漢字学習法”を作り上げた。この学習法の大きな特長は、**基本的な百数十字の学習で、それに十数倍する漢字を類推して知ることができることである。**

漢字の 90 パーセント以上は、部首と呼ばれる部品の組み合わせによってできている。たとえば、常用漢字は全部で 1945 字あるが、それに使われている部首は 190 余しかない。つまり、190 余の部品をいろいろな組み合わせで、1945 字の漢字を作っているのである。実は、190 余の部品を組み合わせれば、もっと多く、数千字もの漢字を作ることも可能である。つまり、この基本的な部首の持つ意味や性格を、その本質から理解するならば、1945 字の常用漢字はおろか、それに数倍する漢字の意味や読み方を推察することができるのである。

こういう性格をもった漢字を、一つ一つ切り離してばらばらに学習していったのでは、覚えるのに骨が折れるばかりでなく、せっかく苦勞して覚えてもすぐ忘れてしまう。今までの漢字学習法は、すべてこういう非能率的な学習法だったのである。

漢字は字形が複雑だからむずかしい、とよく言われる。しかし、それ

は漢字の合理的な構成法を知らない者の言うことである。漢字は、名前こそ“字”であるが、カナ文字やローマ字とは本質的に異なったものなのである。

たとえば、“整”という漢字は、英語になおせば、to put (things) in order にあたる。つまり、“整”の一字に、英語の put, things, order という三つの単語の意味を備えているのである。

“女”は put、“束”は things、“正”は order の意味をそれぞれ備えているのである。“女”は“ノ(棒または鞭^{むち})に又(手)を加えたもので、『手に棒または鞭を持つ』ことを表わした部首である。ゆえに、“牧”や“教”は、牛や子どもに対して鞭をふるう意味の字であることがわかる。“束”は木と“ (なわで木をたばねる形)”とで、『木のたば』を表わした字である。“正”は“一(線)”と“止(足の真の形で、とどまる意)”とで『止まるべき線に止まる』こと、つまり“ただし”という意味を表わした字である。

『木を束ねると、とび出た所、ひっこんだ所ができて、両端が不ぞろいになる。そこでとび出た所を棒でたたいてひっこめ、両端がきちんとそろうようにする』ことが、“整”だということがわかる。

この“整”のように複雑な形をした字でも、簡単ないくつかの部首に分解することができ、その部首について正しい知識さえあるならば、それによって組み立てられている漢字の意味や読み方は、ほぼ推察するこ

とができるのである。“整”の読みは、^{ボク ソク セイ}女・束・正のうち、最も重要な意味を表わす“正”がこれを表わしているのである。